

科目名		授業形態	担当教員名	
音響学Ⅱ（音響・音声学実習）		講義	金田 純平	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
音声学Ⅰで学習した内容について復習し、臨床および国家試験に必要なレベルの音声学の知識を深める。また、パソコンを用いた音声処理を行い、体験を通じて音圧、波形、スペクトル、フォルマント等の音響学の概念を学ぶ。さらに、音響分析ソフトを用いた嘔声や異常構音の分析について学習する。				
授業の到達目標				
音声の音とし手の性質を理解し、応用できる。 波形と周波数スペクトラムの関係について理解し、応用できる。 音声の分析の基礎を理解し、分析ソフトを正しく利用できる。				
授業計画				
回	内容			
1	イントロダクション			
2	音響学1：音の三属性・三要素・単位			
3	音響学2：音圧・強さ・音圧レベル			
4	音響学3：基本周波数と音の高さ			
5	音響学4：波形と音色・倍音・周波数成分			
6	音響学5：周波数成分とスペクトル			
7	音響学6：フィルタ			
8	音響学7：声帯振動とフォルマント			
9	音響学8：音の知覚-マスキングと音響効果			
10	音響分析実習：母音と子音の音響学的特徴			
11	構音障害の分析実習1：異常構音の音響分析			
12	構音障害の分析実習2：異常構音の音響分析			
13	音声分析実習：嘔声の音響分析			
14	構音障害の分析実習3：口蓋裂の異常構音			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	試験の得点によって成績を定める。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
言語聴覚士の音響学入門	吉田友敬		海文堂	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				